

## 川崎市に残されていた天体现象の記録

糸賀星成\*・弘田澄人\*

Old records of the celestial phenomena in Edo Era which exist in Kawasaki City

Seina Itoga\* and Sumito Hirota\*

### 調査の経緯

当館ではプラネタリウム一般投影を月ごとに話題を変えて行っているが、2017年3月のプラネタリウム一般投影は、「星空が語る歴史」と題して制作、投影を行った。番組では日本の古い文献等に記された天文現象をプラネタリウムで再現し、その検証を試みた。天文に関する古記録については、例えば斉藤（1990）等に、記録の収集と検証、考察をまとめたものがある。本番組制作においても、斉藤（1990）を足掛かりとして、さらなる資料の調査研究を行った。

プラネタリウム番組として取り上げるにあたり、一般来館者の興味を引く現象、プラネタリウムで再現可能な現象を取り上げることとし、かに星雲のもとになった超新星爆発、鎌倉時代のしし座流星群の流星雨、江戸時代嘉永2年のアルデバラン食、同6年のクリンケルフェーズ彗星を紹介することにした。

斉藤（1990）によれば、クリンケルフェーズ彗星については、「武江年表」、「小梅日記」に記述されているとあり、さらに調査を進めたところ川崎市にも記録が残されていることが分かった（箕輪, 2002）。

### 鈴木藤助について

この記述が発見されたのは武州橘樹郡長尾村（現在の川崎市多摩区）の鈴木藤助が

記した日記で、後に「鈴木藤助日記」として複製本が作成され、川崎市公文書館に収蔵されている。また、活字（翻刻）本も刊行されており、市内の図書館等で閲覧が可能である。鈴木藤助は、醤油造りを家業としていた鈴木家の7代目当主であり、村の百姓代という役職を務めたこともある、村の有力者だった。その鈴木藤助が嘉永6年から明治22年までの間に、一時途切れながらも書きつづったもので、日記には日々の出来事や村で行われる行事の他にも、その頃世間を騒がせた出来事などが書き留められている（小林・白石, 2001）。



図. 鈴木藤助日記書影.

\*川崎市青少年科学館（かわさき<sup>そら</sup>宙と緑の科学館）  
Kawasaki Municipal Science Museum

## 日記の内容

鈴木藤助日記には、嘉永6年7月20日「かわり星今晚見る宵の内計、但戌亥之方へ出る、図之如し 上ごこうの如しつや悪し(かわった星が宵の頃、北西の方に見えた。上は後光のようで、つやが悪かった)」と記述されている(図)。また、19日には「かわり星五日前より出候由今晚始て見る(かわった星が5日前から出ているらしい。今晚見てみた)」、23日に「異星今晚此方にて不見(今晚ここでは異星は見られなかった)」、24日に「最早異星見へ不(異星はもう見えない。)」という記述がみられる。このことから嘉永6年7月14日頃から彗星が見え始めて世間で話題になり、藤助は19、20、21日に見たこと、20日は前日には書かなかったかわり星の様子が詳しく書かれている。しかし23、24日には見られず、24日にはもはや異星見えずと書き残しているの、24日までにはもう彗星は宵には見えなくなってしまったことがわかる。

## クリンケルフェーズ彗星

1853年第3彗星クリンケルフェーズ彗星は、ドイツ人天文学者クリンケルフェーズが発見した彗星で、1853年9月2日に近日点を通過した。西洋では望遠鏡を使って発見から見失うまで6か月もの間、彗星を追跡してデータを集めていた。この彗星の軌道は離心率が1.00で、2度と太陽系には戻ってこない一過性の彗星だった(斉藤, 1990)。日本では今回の「鈴木藤助日記」の他にも「武江年表」や「小梅日記」などいくつかの記録にこの彗星のことが書かれてい

る。

## まとめ

今回の調査では、クリンケルフェーズ彗星について調べている過程でこの鈴木藤助日記の記述を見つけた。鈴木藤助日記が書かれた時代(1853年から1889年)にはこの他にも安政5年(1858年)のドナチ彗星や、文久元年(1861年)のテバット彗星など世間の話題になった天体現象がいくつもあり、「武江年表」や「鳥居甲斐晩年日録」に記録が残されている(大崎, 1994)。「鈴木藤助日記」にはクリンケルフェーズ彗星以外に天体現象に関する記述は見当たらない。

今後、機会をとらえて川崎に残る古文書等の調査を行い、市内で観測された天体現象の記録を集めたいと考える。

## 引用文献

- 斉藤国治, 1990. 第1章 江戸時代の諸国に残る天文資料「飛耳記」. p. 27, *In*: 斉藤国治(編), 古天文学の道 歴史の中の天体現象. 293 pp., 原書房, 東京.
- 箕輪敏行, 2002. 二つの彗星資料(1853年第3彗星). 東亜天文学会(編), 天界 2002年7月号, **83**(926): 401-403.
- 小林博子・白石通子, 2001. 鈴木藤助日記. pp. 10-12, *In*: 小林博子・白石通子(編), 鈴木藤助日記: 武州橘樹郡長尾村 一. 196 pp., 鈴木藤助日記研究会, 神奈川.
- 大崎正次, 1994. 彗星 客星. pp. 513-516, *In*: 大崎正次(編), 近世日本天文資料. 620 pp., 原書房, 東京.